

仁愛女子短期大学 教員免許状更新講習概要【必修】

講 習 コ ー ド	401				
講 習 名	教育の最新事情				
認 定 番 号	平 31-35141-100202 号				
講 習 会 場	仁愛女子短期大学				
必修・選択必修・選択	必修 ・ 選択必修 ・ 選択				
担 当 講 師 (所属・氏名)	乙部 貴幸	仁愛女子短期大学	幼児教育学科	准教授	
	賞雅 さや子	仁愛女子短期大学	幼児教育学科	准教授	
	増田 翼	仁愛女子短期大学	幼児教育学科	准教授	
日 程	2019 年 11 月 2 日 (土)				
講 習 時 間	9 : 00 ～ 16 : 10 (受付時間 8 : 30～9 : 00)				
時 間 数	6 時間	受講料等	受講料 6, 000 円	教材費等 0 円	計 6, 000 円
受 講 定 員	200 人 (開講最少人数は 10 人)				
	開講最少受講者数未満の場合は、講習は行わずに受講料はお返しします。				
対 象 職 種	教諭 養護教諭				
主な受講対象者	主として幼稚園教諭				
講習の目標・ねらい					
「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の 4 つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。					
講習内容・授業方法					
1. オリエンテーション 9 : 00～9 : 10 (担当 : 増田翼)					
2. 「国の教育政策や世界の教育の動向」9 : 10～10 : 30 (担当 : 増田翼) 日本における幼児教育の特徴や課題について、海外の幼児教育の動向を踏まえたうえで考察する。					
3. 「教員としての子ども観、教育観等についての省察」10 : 40～11 : 40 (担当 : 増田翼) これまでの現場経験を振り返りつつ、自らの子ども観、教育観を省察する。また、保育者に求められている社会的要請について考察する。					
4. 「2・3の範囲分の筆記試験」11 : 40～12 : 10 (担当 : 増田翼)					
5. 「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」13 : 00～14 : 30 (担当 : 乙部貴幸) 脳の基本的メカニズムと発達・発達障害の関連について最新の知見を踏まえながら学ぶことで、子どもの育ちを科学的に理解し、特別支援と心のバリアフリーにまつわる課題について考察する。					
6. 「子どもの生活の変化を踏まえた課題」14 : 40～15 : 40 (担当 : 賞雅さや子) 子どもの貧困等、子どもと家庭への支援の現状や課題について整理するとともに、支援者に求められる態度について考察する。					
7. 「5・6の範囲分の筆記試験」15 : 40～16 : 10 (担当 : 乙部貴幸・賞雅さや子)					
評価方法 : 筆記試験により評価する。詳細は「講習内容・授業方法」をご覧ください。					
出席要件 : 遅刻、欠席、早退、途中退席は認めません。この場合、履修認定はしません。					
連絡事項 : 特になし					

仁愛女子短期大学 教員免許状更新講習概要【選択必修】

講 習 コ ー ド	501				
講 習 名	安全安心な園づくりのために（危機管理上の課題と組織的対応の必要性）				
認 定 番 号	平 31-35141-300268 号				
講 習 会 場	仁愛女子短期大学				
必修・選択必修・選択	必修 ・ 選択必修 ・ 選択				
担 当 講 師 （所属・氏名）	増田 翼 仁愛女子短期大学 幼児教育学科 准教授				
日 程	2019 年 11 月 3 日（日）				
講 習 時 間	9：00 ～ 16：10（受付時間 8：30～9：00）				
時 間 数	6 時間	受講料等	受講料 6,000 円	教材費等 0 円	計 6,000 円
受 講 定 員	170 人（開講最少人数は 10 人）				
	開講最少受講者数未満の場合は、講習は行わずに受講料はお返しします。				
対 象 職 種	教諭 養護教諭				
主な受講対象者	主として幼稚園教諭				
講習の目標・ねらい					
本講習の目的は、園を取り巻く「危機管理上の課題」および「組織的対応の必要性」について「学校保健安全法」にも触れながら考察することである。具体的には、大規模災害に対する危機管理およびリスクマネジメントについて理解を深めるとともに、園での事故・ケガのリスクを軽減する方策について議論していきたい。また講習全体を通して、「安全安心な園づくり」のために保育者には何が求められるのか、についても考えていきたい。					
講習内容・授業方法					
1. オリエンテーション 9：00～9：10					
2. 「大規模災害発生時における園の危機管理について」 9：10～10：30 東日本大震災（2011 年）発生当時の現場保育者の対応事例をもとに、避難方法、避難生活での必需品、子どもたちの様子（地震ごっこ・津波ごっこ）などについて理解を深める。					
3. 「大規模災害を想定した園のリスクマネジメントについて」 10：40～12：10 福井豪雪（2018 年）なども事例に挙げながら、危機が発生した場合の被害や混乱を最小限に食い止めるために、日ごろからどのような備えが重要となるのかを考察する。					
4. 「事故・ケガのリスクを軽減する方策について」 13：00～14：30 どのような組織的対応が、子どもの事故・ケガのリスクの軽減につながるのかについて、「ヒヤリハット報告」や「データ化」等の具体的事例も交えながら考察する。					
5. 「各種法令等と危機管理マニュアルについて」 14：40～15：40 「学校保健安全法」をはじめとして、「学校安全」に関する各種法令や要領・指針を確認するとともに、「危機管理マニュアル」や「災害対応マニュアル」等について理解を深める。					
6. 「2～5の筆記試験」 15：40～16：10					
評価方法：筆記試験により評価する。					
出席要件：遅刻、欠席、早退、途中退席は認めません。この場合、履修認定はしません。					
連絡事項：特になし					

仁愛女子短期大学 教員免許状更新講習概要【選択】

講 習 コ ー ド	601				
講 習 名	発達障害・気がかりな子どもの理解と支援				
認 定 番 号	平 31-35141-500720 号				
講 習 会 場	仁愛女子短期大学				
必修・選択必修・選択	必修 ・ 選択必修 ・ 選択				
担 当 講 師 (所属・氏名)	中尾 繁史 仁愛女子短期大学 幼児教育学科 講師				
日 程	2019 年 12 月 1 日 (日)				
講 習 時 間	9 : 00 ～ 16 : 10 (受付時間 8 : 30～9 : 00)				
時 間 数	6 時間	受講料等	受講料 6,000 円	教材費等 0 円	計 6,000 円
受 講 定 員	170 人 (開講最少人数は 10 人)				
	開講最少受講者数未満の場合は、講習は行わずに受講料はお返しします。				
対 象 職 種	教諭 養護教諭				
主な受講対象者	主として幼稚園教諭				
講習の目標・ねらい 発達障害に関する基本的知識を整理するとともに、発達の気がかりな子どもに対する多角的な視点を持つことを目的とする。加えて、そのような子どもたちに対する支援方法にはどのようなものがあるか、それらを実際に応用するためにはどのような視点が必要かについて理解することも目的とする。					
講習内容・授業方法 1. オリエンテーション 9 : 00～9 : 10 2. 発達障害の捉え方 9 : 10～10 : 30 発達障害について、各障害の概念を整理し、実際の行動特徴と診断の関係について学ぶ。 3. 「気がかりな子ども」とは 10 : 40～12 : 10 「気がかりな子ども」とよばれる子どもについて多角的な視点から理解する。 4. 発達障害・気がかりな子どもへの支援方法 13 : 00～14 : 30 発達に障害のある子ども、発達が気がかりな子どもに対する様々な支援方法について学ぶ。 5. 事例から学ぶ支援の実際 14 : 40～15 : 40 支援の実際について事例を通して理解する。 6. 筆記試験 15 : 40～16 : 10 2～5 の内容について、統合的視点から論述試験を行う。					
評価方法：筆記試験により評価する。 出席要件：遅刻、欠席、早退、途中退席は認めません。この場合、履修認定はしません。					
連絡事項：特になし					

仁愛女子短期大学 教員免許状更新講習概要【選択】

講習コード	603				
講習名	保育におけるマネジメントとリーダーシップ				
認定番号	平 31-35141-500719 号				
講習会場	仁愛女子短期大学				
必修・選択必修・選択	必修 ・ 選択必修 ・ 選択				
担当講師（氏名・所属）	増田 翼 仁愛女子短期大学 幼児教育学科 准教授				
日程	2019 年 12 月 8 日（日）				
講習時間	9：00 ～ 16：10 （受付時間 8：30～9：00）				
時間数	6 時間	受講料等	受講料 6,000 円	教材費等 0 円	計 6,000 円
受講定員	170 人（開講最少人数は 10 人）				
	開講最少受講者数未満の場合は、講習は行わずに受講料はお返しします。				
対象職種	教諭 養護教諭				
主な受講対象者	主として幼稚園教諭				
講習の目標・ねらい					
本講習では、多様化・複雑化する保育現場の現状を踏まえたうえで、保育におけるマネジメントとリーダーシップの理論および意義・役割について理解することを目標とする。具体的には、講習を受講することで、①組織マネジメント、②他職種との協働・連携、③保育の質保証、④保育におけるリーダーシップ、などについて考察するための見方を獲得する。					
講習内容・授業方法					
1. オリエンテーション 9：00～9：10					
2. 「近年の学校（園）経営改革の動向および組織マネジメントについて」 9：10～10：30					
保育を取り巻く近年の経営（制度）改革の特徴について理解するとともに、「組織目標の設定と進捗管理（PDCA サイクル）」や「職員の資質向上」などが求められる背景について考察する。					
3. 「他職種との協働・連携」 10：40～12：10					
2015 年に出された「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について（答申）」をもとにしながら、「カリキュラムマネジメント」に寄与するような多職種（他職種）との連携・分担体制とはどのようなものか考察する。					
4. 「保育の質保証」 13：00～14：30					
法令等に明記された最低基準を満たすことはもちろんのこと、設定された組織目標の達成や利用者のニーズの充足も含めた様々な質の確保によって、保育現場の利害関係者（ステークホルダー）の信頼を確立していく「質保証」のプロセスについて考察する。					
5. 「保育におけるリーダーシップ」 14：40～15：40					
今後の保育現場にとって重要となる「分散型・共有型リーダーシップ」について理解したうえで、園の円滑な運営に向けたリーダーシップの力量形成について考察する。					
6. 「2～5の筆記試験」 15：40～16：10					
評価方法：筆記試験により評価する。					
出席要件：遅刻、欠席、早退、途中退席は認めません。この場合、履修認定はしません。					
連絡事項：本講習は、幼稚園教諭免許状を有する更新対象者すべての方を主な受講対象者として設定しています。（※経営者、管理者、ミドルリーダー等のみを対象とした講習ではありません）					